

甲  
B  
第

590

号  
証

# The Forest

# BF

Big-Frame Structure Long-term high quality housing





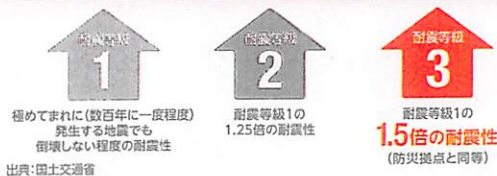
東日本大震災の最大加速度 **2,699gal** に耐え  
**最大 3,406gal** までクリア

※ gal(ガル):地震の揺れの大きさを表す加速度の単位。1gal=1cm/sec<sup>2</sup> ※建物の耐震性は立地条件やプランにより異なります。

## 繰り返す大きな地震にも 耐えることのできる家づくりを。

2016年4月に発生した熊本地震は、震度7を2回、そして震度4～6強の余震を100回以上も観測するなど、過去に類を見ないものでした。住友林業の家は、246回もの振動実験を実施し、熊本地震のような未曾有の大地震にも耐えられることを実証しています。

住友林業の家は最高等級「耐震等級3」が標準



### ■ 耐震等級と加速度

等級	加速度の目安
耐震等級1	400gal程度に対して、倒壊・崩壊等しない
耐震等級2	500gal程度に対して、倒壊・崩壊等しない
耐震等級3	600gal程度に対して、倒壊・崩壊等しない

出典:木造住宅のための住宅性能表示

観測史上最大級、**東日本大震災**を超える揺れを余裕でクリア。

万が一の大地震を想定し、**3階建ての実物大モデル**※で振動実験を行い、耐震性能を検証しています。東日本大震災の震度7を2回、阪神・淡路大震災の震度7を20回、合計22回加振するという過酷な実験にも粘り強さを発揮しました。

※実物大モデル:実際のプランを想定して設計されたモデル。

**246回**、強い余震の繰り返しにも粘り強さを発揮。

巨大地震と強い余震が繰り返し発生することも想定し、**合計246回の加振**を実施。震度4から6弱、そして震度7という厳しい加振の繰り返しにも、構造躯体の耐震性が維持され続けることを確認しました。

### 実験内容

震度7	22回	<b>合計246回</b>
震度4～6弱	224回	

### 熊本地震(震度4以上)

震度7	2回	<b>合計141回</b>
震度6強	2回	
震度4～6弱	137回	

出典:気象庁発表情報(2017年3月21日現在)

### 各地震の最大加速度

- 2016年 熊本地震 ..... 1,740gal
- 2011年 東北地方太平洋沖地震(東日本大震災) ... 2,699gal
- 2004年 新潟県中越地震 ..... 1,675gal
- 1995年 兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災) ..... 818gal

出典:気象庁

詳しくは動画で!

